



疲弊する財政を立て直す

地方財政の充実・強化を
求める意見書

新型コロナウイルスへの対応により巨額の財政出動が行われる中、2022年度以降の地方財源が十分確保できないのか、大きな不安が残されている。

政府予算と地方財源の検討に当たっては、コロナ禍による新たな行政需要なども把握しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすことを求める。

※全会一致・可決



出産時の経済的支援を

出産育児一時金の増額
を求める意見書

令和元年の出生数は86万5234人で、前年に比べ5万3166人減少し過去最少となった。少子化克服に向け、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるため、一時金は大事な一手であることから、政府に対し、現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることが強く求める。

※全会一致・可決



9月補正予算

一般会計 6億8,794万円増

総額 316億7,114万円

国民健康保険特別会計 353万円減

総額 53億8,593万円

介護保険特別会計 99万円増

総額 57億6,352万円

後期高齢者医療特別会計 64万円増

総額 6億5,552万円

住宅新築資金会計

総額 4,562万円

水道事業会計

収益的支出 6億5,232万円

資本的支出 5億2,772万円

6会計総額 447億 179万円

一般会計補正の主なもの

(歳入)

- ◆林道災害復旧費補助金 5,400万円
- ◆後期高齢者医療療養給付費負担金返還金 6,423万円

(歳出)

- ◆商工業振興費 3,223万円
- ◆農地農業用施設災害復旧費 1億1,611万円
- ◆林道災害復旧事業 1億2,536万円

※千円未満切り捨て

